

2020年度

通所介護事業  
(通所介護事業・総合事業通所介護事業)  
(生きがい活動支援デイサービス)  
事業計画書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

## 1. 中期経営計画(2018年度～2022年度)

I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実

### II 中期基本方針

- 1 事業者として、利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供
- 2 各種制度の意思・方向性を的確に見極め、長期的視野に立った、安定した経営の構築
- 3 職員の資質向上と人材の育成・確保
- 4 「情報公表」等を通じた、透明性確保への対応
- 5 新たな福祉ニーズに対応する事業展開

### III 中期経営計画の内容

#### 1) サービス向上への取り組み

- ①新たな福祉ニーズに対応する事業展開の推進
- ②利用者様の人権配慮・プライバシー保護に関する研修を実施するとともに、身体拘束・虐待ゼロ等に向けた取り組みを推進する。
- ③利用者満足度調査、個別面談、懇談会等を実施し、定期的な利用者満足の聴取・分析・分析結果の評価を行ない、サービスの質の向上につなげていく。
- ④苦情解決の仕組みの周知など、利用者様・ご家族様が意見を述べやすい環境整備を行ない、結果について迅速に対応・公表できるような体制づくりを実施する。

#### 2) 福祉サービスの質の確保

- ①自己評価を実施し、評価結果の分析と課題解決を職員参画のもと行なっていく。
- ②個々のサービスについて標準的な実施方法を検討し、文書化するとともに、定期的な整備・更新を実施する。
- ③ケース記録の整備・保管方法を検討し、職員間で情報共有できるシステムづくりを確立する。
- ④内部研修会を定期的実施し、現職員の介護技術のチェックを行い、現職員についてはスキルアップを図るため個別研修計画を策定する。また現職員の定期的な技術指導研修により職員のレベルの平準化を図る

#### 3) 地域との交流と連携

- ①地域の関係機関・団体等と連携をはかるとともに、利用者様にも積極的に関係機関等の情報提供ができる仕組みをつくる。
- ②介護研修・相談会の実施、災害時の支援協力体制など事業所の持つ機能を地域に提供できるネットワークづくりを構築する。
- ③地域の福祉ニーズを把握し、それに応える活動を行なう。

#### 4) ボランティア

- ①ボランティア受入に対する基本姿勢を明確にし、受入方針の明文化、マニュアル作成、研修会・講座の開催等を実施する。

#### 5) 安全管理・リスクマネジメント

- ①感染症・食中毒・介護事故・交通事故撲滅に向けた対策を具体的に検討し、実践する。
- ②介護事故の未然回避に向けたマニュアル・規程の整備・更新を行なうとともに、適切な周知・活用方法の検討・実践を行なう。
- ③食料の適正備蓄、施設内什器の転倒防止策を検討し、災害時の対策に努める。
- ④災害時の避難誘導體制の構築とマニュアルの整備。

#### 6) 広報活動の充実

- ①事業所の広報誌を作成し地域に配布するとともに、インターネット（HP）を活用した迅速かつ適切な広報体制の充実を図る。

#### 7) 経営委員会の開催

- ①課題・問題発生時のみならず、現状分析と将来ビジョンを検討する経営委員会の構築を行なう。

#### 8) 人材の確保・育成

- ①将来の福祉人材育成に向け実習生の受入を積極的に行なうとともに、指導者の育成にも力を注ぐ。
- ②職員の自己目標をもとに上司との面談の充実を目指す。
- ③健康管理、メンタルヘルス対策の充実に努めるとともに、職員交流の機会を増やすなど、働きやすい職場環境づくりを目指す。

#### 9) 経営基盤充実への取り組み

- ①事業所の定員・稼働状況を都度分析し、適正な収入確保に向けた取り組みを実施する。
- ②的確なコスト分析を行うとともに、全職員に具体的に周知しコスト意識高揚に向けた仕組みを作成

する。また、経費節減に向けた対策を事業所ごとに構築し、取り組みを行なう。

- ③収支状況を職員一人ひとりが把握でき、利用者・家族へも積極的に情報開示できるシステムを構築し、財務の透明性確保に努めていく。
- ④IT化の推進など人的以外で対応できる部分に積極的に経営資源を投入することで、経費節減に取り組む。

#### IV 安定した介護報酬収入

- 1年目・・・1日平均利用者数 一般デイ 32名
- 2年目・・・1日平均利用者数 一般デイ 34名
- 3年目以降・・・1日平均利用者数 一般デイ 40名

#### 2. 基本目的

在宅サービスセンター加美独自の特色を打ち出し、心のこもった対応と利用者のさまざまなニーズに対応すべくサービスの充実及び運営面の効率化を図り、地域の利用者に喜んで選ばれる『明るく魅力のあるセンターづくり』を目指すとともに、利用者ご家族の介護負担軽減を目的とする。また、利用者満足の充実を図るため、新たなサービス・メニューの検討を進めていく。

#### 3. 基本方針

- (1) 要介護状態へ進行した利用者が可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るために必要な援助及び機能訓練を行うことにより、その利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持・向上を図り、ご家族との連携により、在宅生活の継続に努める。
- (2) サービスの充実を図る為、職員は常に利用者の立場を考慮し、やさしい、思いやりのある気持ちを持って対応を行う。  
職員は利用者の多様なニーズに対応すべく随時ミーティング等で新たなサービスを提供出来るよう話し合い、又次年度の制度改正を踏まえ、外部研修への積極的参加、内部研修の開催により最新の情報を収集し、職員の質の向上並びにサービスの質の向上を図る。
- (3) 居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、介護保険サービス提供事業者、地域の保健医療福祉機関等と密接に連携を取り、地域高齢者の状況把握に努め、サービスについての相談を行なっていく。

#### 4. 本年度の重点施策

「利用者に選ばれるセンター」となるよう以下の項目に重点をおき活動する。

##### (1) サービス提供について

サービス利用開始時に生活相談員並びにナースによる利用者個々の身体状態・生活状況・経歴・要望等を的確に把握し、通所介護計画、総合事業通所介護計画を作成して、必要な日常生活上の介護及び健康管理並びに生きがい活動を行う。合わせて、それぞれの利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるような支援を継続していく。また、介護計画については定期的に確認、見直し、評価を行うことにより、個々に見合ったサービスの継続を心掛ける事とする。

##### (2) 職員の意識改革

コスト面における厳しい現実を職員一人一人が自覚し、更なる経費削減を目指し無駄のない運営を行う。また介護保険制度における職員の配置状況は大変厳しく、事務職員の利用者送迎・食事配膳など職種を超えたサービス提供を行う。

##### (3) 利用定員増加

介護保険での厳しい経営状況を乗り切るために、利用者人員増を目指す。利用者増員への具体的な施策として、以下を企画実施する。

- ・併設の支援センターの情報を活用し、サービスセンターのご案内（ふれあい）の配布、館内掲示及び、ホームページにより様々な情報を配信する。
- ・デイサービスに関心のある方やご家族に対し、趣味の会やゲーム大会などを見学していただく。
- ・さまざまな企画実施し、趣味の会の更なる充実及び予防的メニューによって利用者の増加を図る。
- ・2種類の機械浴を効率よく使用し、利用者ニーズに応え、利用者増加を図る。
- ・総合事業通所介護事業について、要支援者が要介護状態にならないための「体力測定」等、多様な介護予防サービス提供を企画実施する。
- ・生きがい活動支援デイサービスの利用者が楽しく1日を過ごされるよう、カラオケ等のレクリエーションについて実施する。
- ・利用開始時、利用者個々の通所介護計画を確実に作成し、またその計画を適時見直すことにより、利用者にとって最適なサービス提供を行う。
- ・収入見込みとして、通所介護・総合事業通所介護年額75,159,000円を予算計上する。

##### (4) 利用者送迎時の安全対策について

利用者送迎中の事故を教訓とし、今後2度と発生させないよう、職員一人一人が安全に関しての意識を更に高め、以下の対策を行なうこととする。

イ) 介助員

- ・ 車輛の定期点検の強化及び出発前後の車輛の安全確認を行なう。
- ・ 法定速度の遵守、安全な車間距離での運転、余裕を持った運行表の作成を行なう。又、運行表についてはミーティングにて検討を行い、随時見直しを行っていく。
- ・ 定期健康診断の実施並びに過重労働とならぬような業務分担を行ない心身の安定を図る。
- ・ 定期的にドライバーミーティングを開催する。

ロ) 介護職員

- ・ 利用者へのシートベルト着用を更に徹底し、確認後、運転職員への合図を行なう。
- ・ 利用者乗降中についての、前後左右、足元確認を徹底する。
- ・ 出発前、運転職員とともに安全に対しての意識確認を行い、センター到着後のミーティングにて、当日の送迎時でのヒヤリ、ハット、また安全確認についての報告を行なう。

5. サービス提供項目

(1) サービス提供コース

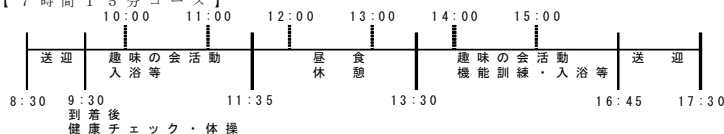
① 7時間15分コース (9:30~16:45)

趣味・生きがい活動・日常機能訓練・入浴・食事・おやつ等のサービス提供。

② 5時間30分コース (10:15~16:45)

趣味・生きがい活動・日常機能訓練・入浴・食事等のサービス提供。

【7時間15分コース】



【5時間30分コース】



\* 職員の食事は施設の給食か持参した弁当とし、利用者とともに、または利用者の緊急時対応に備えるため、順次施設が指定した食堂にて食べる。

6. 通所介護事業

各サービス項目における活動予定

① 食事

管理栄養士により栄養管理され、彩り豊かなメニューが毎日テーブルに並び、利用者が楽しい雰囲気の中での昼食が進められるように工夫していく。

給食費予算額：4,525,000円

② 送迎

重点施策へ掲げたとおり、安全運転を第一に考え、快適な送迎を行う。

また、利用者を玄関から玄関までしっかりと事故のないよう送迎を行う。

車輛費予算額：2,080,000円

③ 健康チェック

センターに到着後、バイタルチェックを行い、利用者の皆様の健康チェックを確実に行う。バイタルは、ケース記録に記載し、希望される方については連絡ノートにてご家族に連絡をする。又、定期的に体重測定を行い、BMIの測定による健康チェックも実施する。

④ 身体介護

日常生活動作能力の程度により、必要な支援及びサービスを提供する。

基本的には過剰な介護・介助はさけ、利用者の身体状態にあわせた介護・介助を行い、機能低下を防ぐよう心がける。

⑤ 機能訓練指導 (選択的サービス)

機能訓練の必要な利用者に対し、機能訓練指導員の計画を策定し、体力や機能の低下を防ぐために必要な訓練及び日常生活に必要な基本動作の継続または向上を目的としての訓練を行う。

機能訓練室を活用し、利用者の身体機能の維持・向上を目指す。

⑥ 入浴 (選択的サービス)

身体状況に合わせ、ストレッチャーバス・チェアバスという特殊浴や展望風呂に入浴していただく。

・特殊浴

家庭において入浴が困難な利用者にストレッチャーバスとチェアバスを使用し、身体の清潔を目的とし、並びに心身のリフレッシュ及び活性化を図る。

・展望風呂

センター5階にある展望風呂を開放し、自然豊かな景色を眺めながらゆっくりと入浴していただき、心身の活性化及び、リフレッシュを図る。

⑦相談・助言

利用者及びご家族の日常生活における介護等に関する相談及び助言等を行い、不安の解消、信頼関係の更なる構築に努める。

⑧行事

利用者に楽しんでいただくため、以下の行事を企画開催する。  
なお外食会における食事代については全額利用者負担とする。

1)外食会

参加希望者を対象に地域の食事処・レストランに出向き、おいしい食事をいただくとともに社会とふれあう機会を設ける。

利用店については、利用者の希望を参考にその都度決定する。

2)誕生日会

誕生日会を開き、その月に誕生日を迎えられる利用者にお祝いをする。

誕生日会の昼食は誕生日食を用意し、楽しいひとときを過ごしていただく。

3)クリスマス会

12月に誕生日会をかね実施。楽しいゲーム、隠し芸等を利用者とともに企画し、クリスマス気分を満喫していただく。

4)ドライブ

ドライブに出かけ、精神的リハビリ・リフレッシュに努め、自然の移り変わりを実感していただく。

春のお花見、秋の紅葉見学等を介護職員と利用者が話し合っって企画する。

5)季節毎の行事

春は節分祭・雛祭り、夏は七夕祭り・盆踊り、秋冬は焼き芋大会などの特養の行事等に合わせて開催する。

6)その他

併設の特別養護老人ホーム第2サンシャインビラが行う年1回の観桜会、盆踊り大会、文化祭、また毎月の喫茶室等の行事に対しても参加していただき、特養の利用者との親睦を深めていただく。あわせて、総合事業通所利用者、生きがい支援利用者との交流も深めていくこととする。

⑨趣味の会

生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることが出来るよう、第2サンシャインビラで開催しているクラブ活動を活用して、「趣味の会」を提供し、この会を通じて仲間づくり、老いや障害の受容、心身機能の維持向上、自信の回復、孤立感の解消を図る。現在、書道・手芸・華道・カラオケ・陶芸・茶道・押花等の「趣味の会」の活動がある。

なお、施設に展示等するものを除く材料費等については全額利用者負担とする。

・週間予定表

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
茶 道 (第1・3週)	陶 芸 (第2・4週)	陶 芸 (第2・4週)	陶 芸 (第2・4週)		
書 道 (第2・4週)		音楽リハ (第1・3週)		紙芝居作り (第2・4週)	
			手 芸 (第1・3週)	シアター (第4週)	

教養娯楽費予算額：805,000円

⑩介護材料費 日用品費等について

介護用品費予算額： 38,000円	被服費予算額 : 13,000円
医薬品費予算額 : 225,000円	日用品費予算額 : 140,000円
保健衛生費予算額： 101,000円	消耗器具備品費予算額：173,000円

月間活動予定表（通所介護事業）例示

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1週	午前	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練
			音 楽 リ ハ ビ リ				
	午後	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		展 望 風 呂		展 望 風 呂		展 望 風 呂	展 望 風 呂
		セツン草の会 趣 味 の 会 ( 茶 道 )	喫 茶 趣 味 の 会		趣 味 の 会 ( 手 芸 ) ( 陶 芸 )		
2週	午前	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練
		外 食 会	外 食 会	外 食 会	移 動 美 容 室 ( ひ ま わ り )	紙 芝 居 作 り	
	午後	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		展 望 風 呂		展 望 風 呂		展 望 風 呂	展 望 風 呂
		趣 味 の 会 ( 書 道 )	趣 味 の 会 ( 陶 芸 )	趣 味 の 会 ( 陶 芸 )			
3週	前 午	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練
		理 髪 の 日	音 楽 リ ハ ビ リ				
	午後	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		展 望 風 呂		展 望 風 呂		展 望 風 呂	展 望 風 呂
		セツン草の会 趣 味 の 会 ( 茶 道 )	喫 茶		ド ラ イ ブ 趣 味 の 会 ( 手 芸 ) ( 陶 芸 )	ド ラ イ ブ	ド ラ イ ブ
4週	午前	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練	機 能 訓 練
					移 動 美 容 室 シ ニ ア ヨ ガ 紙 芝 居 作 り		
	午後	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴	機 械 浴
		展 望 風 呂		展 望 風 呂		展 望 風 呂	展 望 風 呂
		誕 生 会 趣 味 の 会 ( 書 道 )	誕 生 会 趣 味 の 会 ( 陶 芸 )	誕 生 会 趣 味 の 会 ( 陶 芸 )			

※上記のほか、散策等随時企画開催する。

※外食会・ドライブ・誕生会等の日程については変動あり。

【総合事業通所介護事業】

要介護認定区分が要支援1及び要支援2に認定された利用者が対象で、総合事業ケアプランは地域包括支援センター等において策定される。

○基本単位は一ヶ月ごとに設定されており、利用回数、サービス提供内容等については、地域包括支援センターによって利用者ごとに策定された総合事業ケアプランに従って総合事業通所介護計画を策定する。

○その他、特養並びに通所介護事業、生きがい活動支援デイサービス事業にて行っている諸行事、クラブ活動、慰問活動に参加していただき、利用者の心身のリフレッシュ、機能訓練向上を図る。

## 7. 職員配置

併設型通所介護・総合事業通所介護 定員40名

職 種	常 勤		非 常 勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管 理 者	1人	他事業を兼務		
生 活 相 談 員	3人	専任	1人	専任
		他事業を兼務		
		他事業を兼務		
介 護 職 員			13人	専任
看 護 職 員			4名	機能訓練指導員を兼務
機 能 訓 練 指 導 員		生活相談員が兼務	4人	看護職員を兼務
調 理 員		必要数（他事業と兼務）		
運 転 手	1人	他事業を兼務（送迎時間帯のみ）	7人	全利用日送迎時間帯に勤務
事 務 職 員	1人	他事業を兼務		

人件費予算計上額：66,753,000円

## 8. 高齢者生きがい活動支援デイサービス

おおむね65歳以上の、介護保険要介護認定の「要介護」「要支援」に該当しない高齢者を対象に通所による趣味活動や日常生活動作訓練等を提供し、高齢者の生きがいづくりや心身機能の維持向上を図り、介護予防及び閉じこもり防止を目的とします。

この事業は福生市による委託事業となっております。

### 【利用料金】

1回につき昼食代の350円。市民税課税者は1回につき180円。

受託事業収入（一般）予定額：900,000円

### ○重点施策

生きがい支援デイサービスの新規利用者増員を図るべく、以下の施策を実施する。

- ・パンフレットの配布・・・毎月の行事内容を第2市営住宅へ配布し、より多くの市民に周知する。
- ・多彩な行事を企画し、魅力あるデイサービスを目指す。
- ・多様なクラブ活動を開催する。

### ○職員配置

職名	職員配置人数	
介護職員	2	通所介護職員が兼務

### ○受託料予定額：14,500,000円

### 【第2サンシャインビラ生きがい支援デイサービス】

第2サンシャインビラにおいて、毎週月曜日～土曜日10時30分から15時まで生きがい支援デイサービスを開催する。サービス内容は、手芸、カラオケ、ショッピングなど参加者の意見をもとに実施内容を検討して行っており、希望者には第2サンシャインビラのクラブ、通所介護事業のレクリエーション等にも参加していただく。

### 【第2市営生きがい支援デイサービス】

福生市第2市営住宅の高齢者を対象に、市営住宅の団らん室において、毎週木曜日10時30分から15時まで生きがい支援デイサービスを開催する。

サービス内容は、折り紙、カラオケ、ショッピングなど参加者の意見をもとに実施内容を検討して行っている。



## 9. 管理運営

### 1. 職員の基本理念

- ・介護保険制度の下、より良いサービスの提供を目的としての精神を強く抱き自己啓発に努める。
- ・利用者の安全確保に常に細心の注意を払う。
- ・受容と思いやりの精神をもって利用者に接する。
- ・利用者の満足感・幸福感を常に念頭に置き、利用者に接する。
- ・利用者の残存機能の維持・向上をもたらすよう、考えた介助をする。
- ・利用者が心の拘束を感じてしまうことのないよう、気配りをする。

### 2. 職員健康管理

職員は常に健康保持に努め、自己管理を怠らず、利用者処遇及び運営に支障をきたさぬよう日頃より規則正しい生活を心掛ける。

①全職員を対象とした年2回の定期健康診断を実施し、産業医と連携を図る。  
(胸部レントゲン・尿一般・心電図・聴力・血液検査及び必要とする項目)

②栄養士・調理員は月1回検便を実施する。(夏期は月2回実施する)

### 3. 職員福利厚生

①全職員を対象として研修旅行を年1回実施し福祉職員としての知識・見聞を広め、職員相互の親睦を深める。

②職員親睦会を年1回実施する。

③職員会行事には必要に応じて補助を行う。

④職員環境改善に努め、制服や必要と認められる器具の整備を行い、常に明るく働きやすい快適な職場環境に努める。 福利厚生費予算額：470,000円

### 4. 職員研修

福祉全般の知識・介護技術の更なる向上のため、内部・外部において研修を行う。

#### ①内部研修

月1回程度の内部研修会を行い、各部署の専門知識を他部署に提供し相互の知識・技術の向上を図る。又、日々のミーティング内においても、知識、技術の向上を図る為の情報交換を行う。

#### ②外部研修

東京都・全社協・東社協や各種団体の主催する研修・会議等には、積極的に参加し知識・技術を意欲的に取り入れ日常業務に役立てる。

#### 【内部研修計画書】

時 期	研修名・研修内容等
随時	新人介護職員社内研修
2ヶ月に1回	介護職員 内部実技研修
2ヶ月に1回	送迎職員 内部実技研修
毎月	施設内研修会 (特養と合同にて実施：毎月テーマを設定する)

#### 【外部研修計画書】

時 期	研修名・研修内容等
5月・11月・2月	センター分科会総会
6月・9月・11月・1月	センター分科会 デイサービス分科会
2ヶ月に1回	東社協青梅秋川ブロックセンター連絡会
9月	関東ブロック 老協研究総会
9月	アクティブ福祉in東京 '19
11月	全国老人福祉施設大会
10月	全国老人福祉施設研究会議
随時	東社協他、社外実施研修に参加

研修研究費予算額 : 14,000円

### 5. 施設設備改善及び備品購入計画

①今期固定資産取得予定

機械浴槽：10,000,000円

③第2サンシャインビラでの施設管理費用は按分することとする。